



国際ロータリー2620地区 長泉ロータリークラブ

週報



発行/会長:前島 大一 幹事:市川 明宏
例会/毎週水曜日 12:30~13:30
例会場/財米山記念館ホール
事務局:〒411-0941

静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1



TEL・FAX: (055) 988 - 3070
E-mail:n-jimu@nagaizumi.com

<https://www.nagaizumi.com/>



財団法人 米山記念館外観

長泉ロータリークラブ 会長あいさつ
会長 前島 大一 MAESHIMA DAIICHI

第1740回 例会 2022.8.3 wed

7月31日に米山奨学生のセミナーがありました。渡邊さんが参加され、今年も新しい奨学生が選定されます。米山奨学生は世界の至るところで活躍する人材を排出しています。今ウクライナで、ミャンマーで、世界の至るところで難民が行き場を失っています。いつの時代にも国難によってこうした人々が生まれます。それを救済すべく国連難民高等弁務官が活躍しています。あの緒方定子さんは米山奨学生です。従姉妹に犬養毅お孫さんで文筆家の犬養道子さんがいます。この方も世界で難民支援活動をされた著名な方です。そして国連でまた中満泉さんが国連事務次長としてその後を歩んでいます。この方も米山奨学生です。グランというフランスの香水にミツコという有名な香水があります。この由来は日本人でオーストリアの貴族に嫁いだ青山みつさんとされています。後にEUの父と言われるリヒャルト・ニッセルゲル氏の母親でした。ご存知かもしれませんが、映画「カサブランカ」で、ハンフリー・ボガードはイングリッド・バーグマンの夫でナチスに追われる革命家を逃がします。それがその人だとされています。古くは神功皇后、尼將軍北条政子も鹿鳴館の花と言われた大山捨松、津田梅子も広岡浅子も世界を切り開く力を日本の女性は持っている。近年富士吉原ロータリークラブでは、女性会員が増えると共に活性化が進んでいます。ウクライナ支援なども積極的に行っています。そうしてまた、私達は奨学生の皆さんの事績は私達ロータリアンが支えたという自負を是非お持ち頂きたいと思います。



幹事報告

幹事 市川 明宏 AKIHIRO ICHIKAWA

- ①RIから
*ロータリーの友(8月号)が届いています。 配布
- ②2620地区(ガバナー、ガバナーエレクト事務所)から
- ③第2グループ(ガバナー、ガバナー補佐 他)から
- ④他クラブから
- ⑤長泉RC関係
*週報(1734号) 配布
*近隣クラブ8月例会状況 配布
*細則委員会について
*8/10フォーラム、細則委員会
- ⑥部組織から
- ⑦米山記念館奨学会から

出席報告(8月3日 wed)

会員総数	出席計算に 用いた会員数	出席	出席率
24名	22名	19名	90.91%



スマイルボックス 😊

- ・川瀬 一隆
ありがとうございます。59歳となりました。
これからも元気でがんばります。
- ・鈴木 真雄
妻の誕生日花束ありがとうございました。
- ・西原 重夫
明日70歳になります。
老人にはなりません。

- ・小原 秀樹
先週はお休みさせて頂きました。
- ・鈴木 正明
先週欠席しました。
- ・吉田 雅昭
入会して丸15年になります。
これからも宜しく御願います。
- ・渡邊 富夫
劉さん本日の卓話楽しみにしています。



劉さん卓話

皆様こんにちは。奨学生の劉雅文です。
本日のスピーチの機会をいただき、誠にありがとうございます。
本日のスピーチの目次は6つのテーマについて発表させていただきます。

1. 自己紹介自己紹介をさせていただきます。
私は劉雅文と申します。2000年生まれ、今年22歳です。生まれた時期、ちょうど中国は一人っ子政策となって、家族の構成は両親と私だけでした。兄弟はいませんが、何をしても支えてくれる両親がいて幸せだと思えます。出身は中国遼寧省大連市です。母国の高校は日本の倉敷高校と姉妹校のため、2017年高校三年生の時、倉敷高校に入学して、一年半の勉強を通して、日本大学に合格しました。現在日本大学国際関係学部国際総合政策学学科ビジネス専攻している4年生です(中省略)
2. 日本留学の理由
(中省略)母が「では、日本へ留学に行き、自分の目で実際の日本、日本人の姿を見たらわかっているのではないのでしょうか。機会があれば、私も日本に行きたいなあ」と提案してくれました。そのため、日本語が学べるし、日本に留学できる高校に入って、母親の夢を込めて、本当の日本を見たい気持ちを持って日本に参りました。
3. 留学生活
(中省略)さまざまな活動に参加するとき、異なる宗教、国、習慣、常識を持っている方と出会い、他者の意見を聞いて理解し、異文化への理解を深めることで、考え方に幅が広がり多様な考え方ができるようになります。異文化及び異分野の多様な価値観を受容し、自身の価値観も広がりました。また、他国文化の理解と吸収により、自国の文化を豊富させることも期待します。

4. 日本に住んでいる感じたこと
(中省略)日本では、障害者の彼らも一般人のように生活するために、さまざまな工夫をすることがわかりました。企業に対して、雇用する労働者の2.3%に相当する障害者を雇用することを義務付けている「障害者雇用制度」、障がい者が暮らしやすいように細かなところまで心配がみられ、日本人の優れた人間性を強く感じました。本当に来てよかったと思います。
5. ロータリー米山記念奨学生になった感謝すること
(中省略)コミュニケーションの面、毎回例会に参加する時、皆様とお話しできます。日常会話ですが、積み重ね、コミュニケーション能力が伸ばすようになりました。また、毎回奨学金をいただくとき、今回の卓話をするとき、多くの人前で、話をする機会も多くなりました。緊張しますが、毎回乗り越えたことが自信になりました。また、支援のおかげで、アルバイトの時間を減らし、以前よりも多くの時間を勉強することができるようになりました。ロータリーの奉仕精神を引き継いで自分の力で他人を助けたいと思います。
6. 将来への展望
大学を卒業後、日本語を中心に多言語との比較をしながら深く世界の多様な地域の文化を理解するとともに、異なる文化背景の人たちとの交流をコミュニケーションが求めるため、外国語を専攻する大学院に進学するつもりです。留学を終えた後、大連に戻り、大学で学んだ知識を生かして、自分の日中貿易会社を作ろうと思います。(中省略)国際交流で活躍できる人材を目指しながら、社会に貢献する姿勢を持ち続けることを努力しています。日本に留学した経験を中国の方に伝えることができます。一人の力で中日関係の壁は消えないが、架け橋として、小さい力でも、全力で日中の友好親善を頑張っていきたいと思っています。